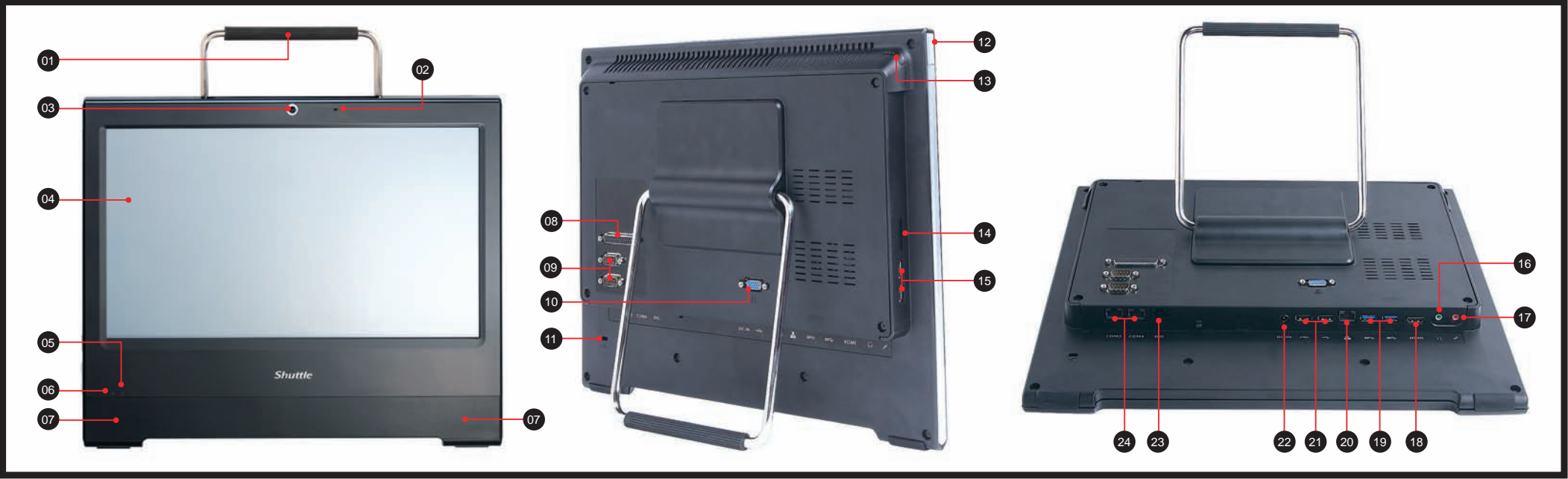




前面 / 背面 / 側面 各部説明



- 01

スタンド / ハンドル
- 02

マイク
- 03

ウェブカメラ
- 04

LCD ディスプレイ (シングルタッチ)
- 05

ハードディスクドライブ LED
- 06

電源 LED
- 07

ステレオスピーカー
- 08

プリンターポート (オプション)

09

COM1 及び COM2 ポート (オプション)

10

VGA ポート

11

Kensington® ロックポート

12

電源ボタン

13

スタイラスペン

14

SD カードリーダー

15

USB 2.0 ポート

16

イヤホン / オーディオ出力端子

17

マイク入力端子

18

HDMI ポート

19

USB 3.0 ポート

20

LAN ポート

21

USB 2.0 ポート

22

DCIN 接続部

23

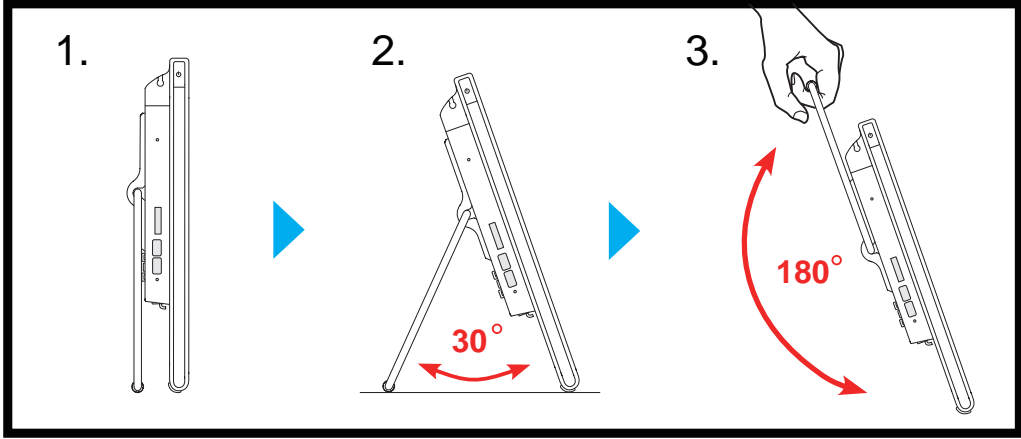
RJ11 DIO ポート(オプション)

24

RJ45上のCOM3、COM4 (オプション)

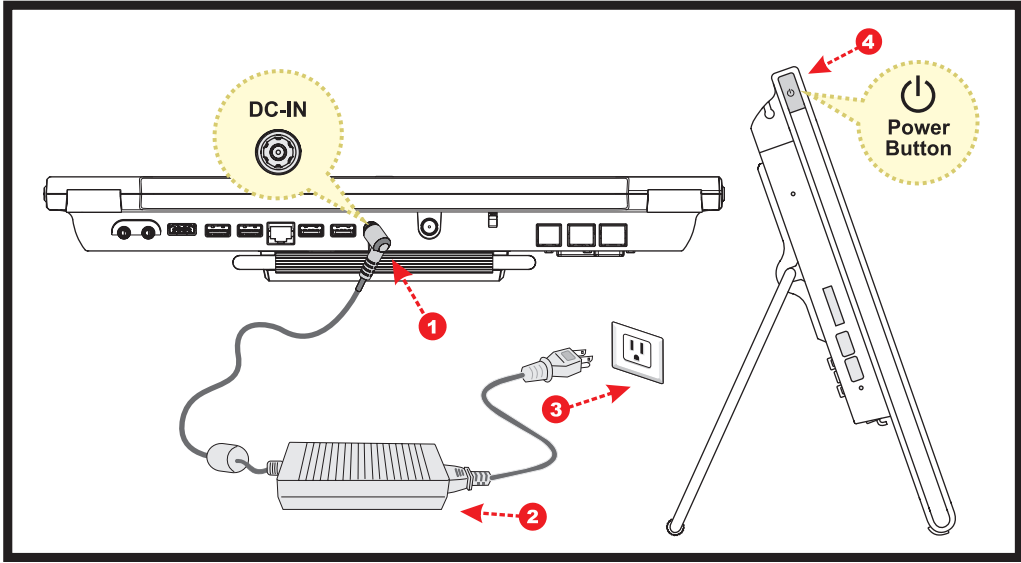
X50V4 本体の置き方と運び方

- X50V4 の置き方、及び運び方は以下の手順を参照ください:
- X50V4 本体を、テーブルのような平面の場所に置き、本体を片手で支えながら、図 1 のように X50V4 を立ててください。スタンド/ハンドルを取り出し、図 2 の状態になるように本体を立ててください。すると、使用しやすい快適な角度に調整することができます (図 2 を参照)。X50V4 を運ぶ、または、移動させる際には、図 3 のようにスタンド/ハンドルを本体上部までもっていき、スタンド/ハンドルが安定した状態を確認し、持ち上げて運んでください。



電源の入れ方

- 以下の図にある電源接続のステップ 1 ~ 3 に従い AC アダプターとを DCIN ジャックに接続してください。確認後、④ の Power Switch を押してください。



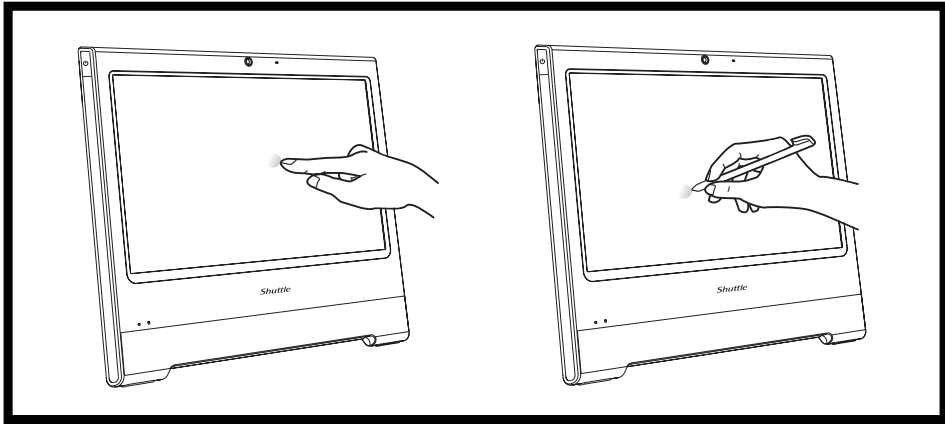
スクリーン のクリーニング方法

- 以下の手順で、コンピュータ画面をクリーニングしてください:
- 本体の電源を切り、本体に接続しているすべてのケーブルをはずしてください。湿気を含み、汚れのない、やわらかく、糸くずの出ない布を使って、やさしく本体画面の表面をふき取ってください。

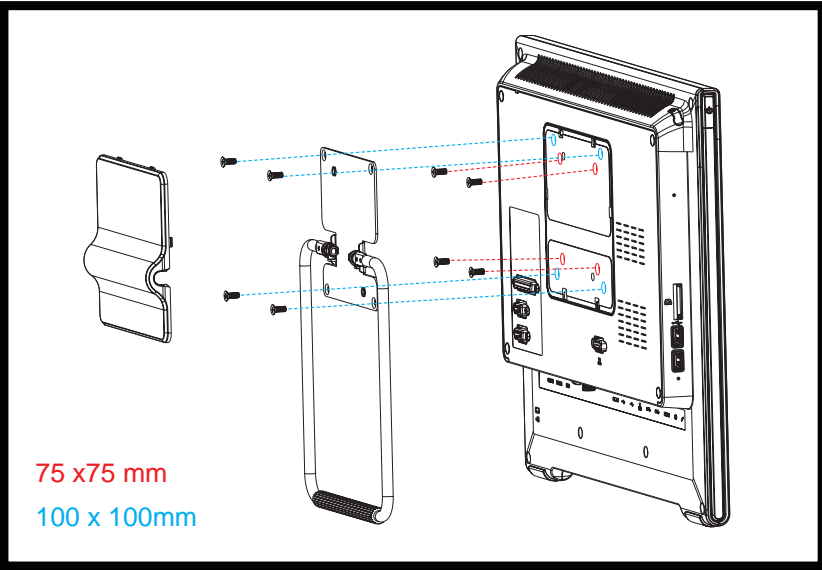
タッチパネルの使い方

- X50V4 は、簡単なタッチパネル機能を搭載しており、デジタルライフを味わうことができます。数回、画面をタッチする、または、スタイラスペンを使用することで、デジタルライフが身近なものになります。X50V4 は、画面にタッチすることで、マウスの役割もする楽しい機能も備えています。

- ・ タッチ = マウスの左クリック
- ・ タッチして止まる = マウスの右クリック



VESA をウォールに取り付ける場合



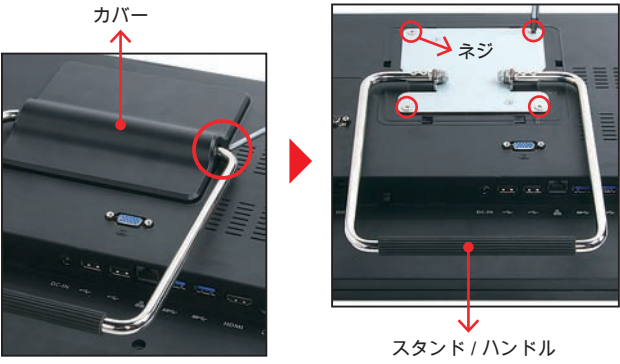
- X50V4 をウォールに取り付ける場合、X50V4 背面についているカバーを取り外します。スタンドを固定している 4 つのネジを取り外して、スタンドを外します。通常の VESA 規格であれば簡単にウォールへ取り付けすることができます。取り付ける前にウォールやアームの取り付けキットの説明書をご参照ください。

注: X50V4 は、VESA 互換 75 x 75 mm または 100 x 100mm ウォール/アームブラケットを使用すると取り付けられます。

A. 組み立てを始める

- ▲ 安全上、ケースを開ける前に必ず電源ケーブルを抜いて下さい。

1. X50V4 背面についているカバーを取り外します。スタンドを固定している 4 つのネジを取り外して、スタンドを外します。

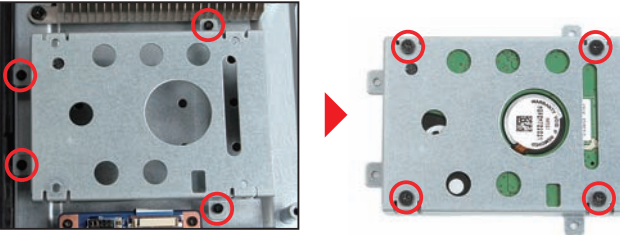


2. 背面にある 4 つのネジを外して、カバーをはずします。

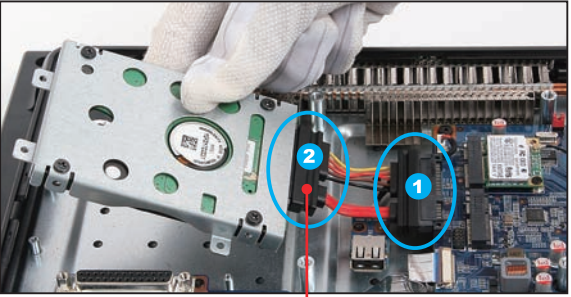


B. HDD の取り付け

1. 4 つのネジを外して、ブラケットをはずします。
2. HDD をブラケットに取り付けネジを 下図の通り締めます。

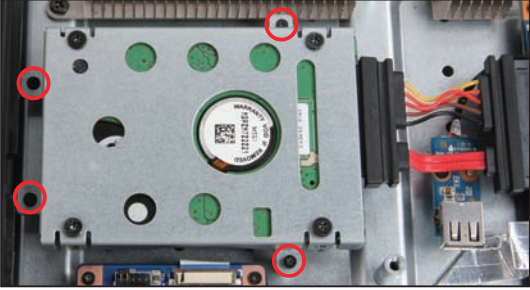


3. HDD にシリアル ATA ケーブルと電源ケーブルを接続します。



アクセサリボックスからシリアル ATA ケーブルと電源ケーブルを取り出して下さい。

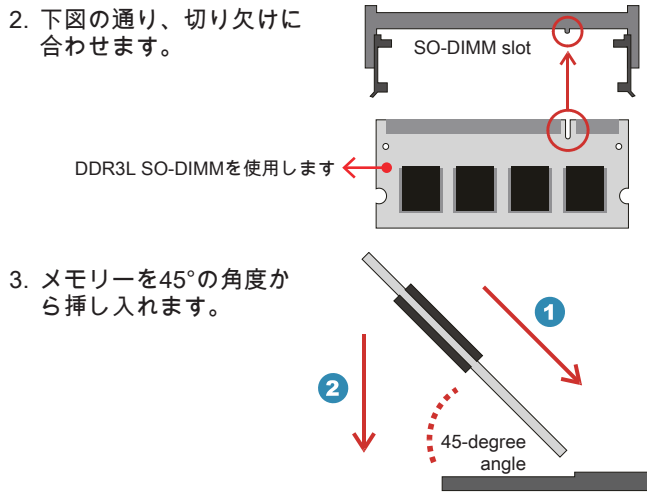
4. シャーシに HDD とブラケットを取り付けて、4 本のネジで HDD とブラケットを固定します。



C. メモリーの取り付け

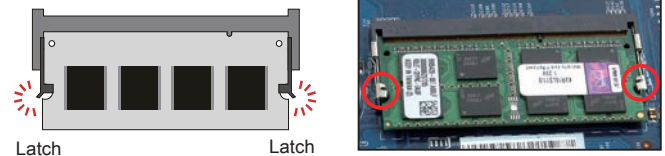
- ▲ このメインボードは 1.35V の DDR3L メモリーモジュールのみ対応しています。

1. SO-DIMM にメモリーを取り付けます。
2. 下図の通り、切り欠けに合わせます。



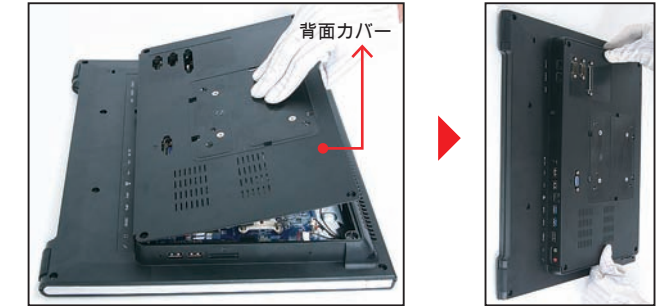
3. メモリーを 45° の角度から挿し入れます。

4. 挿し入れた後に、メモリーを倒すように押し込むとロックがかかります。

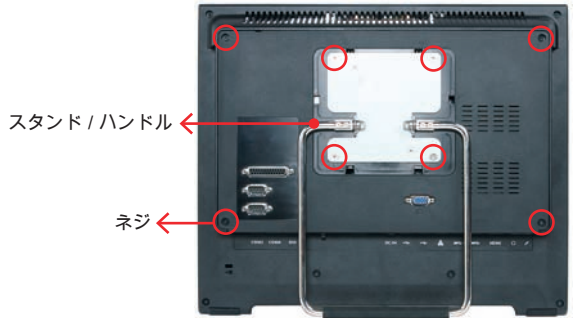


D. 完成

1. 背面カバーを取り付けます。



2. 8 本のネジでスタンドと背面カバーを締め直します。



3. カバーを元に戻して完成です。

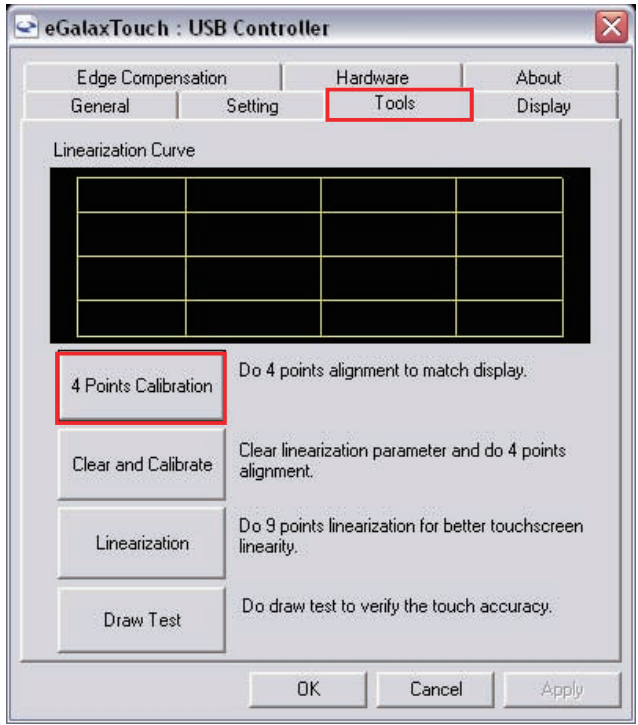


4 Points Calibration について (CD-ROM ドライブインストール)

- X50V4 は、screen calibration program を使うと、スクリーンパネルで正しい 4 ポイント校正をすることができます。

スタートボタンをクリック、すべてのプログラム → eGalax Touch → Configure Utility の順で開いてください。

その中にある Tools タブを選択、4 Points Calibration をクリックします。



セーフティインフォメーション

Shuttle X50V4 をセットアップする前に、以下の注意事項をよく読んでください。

注意

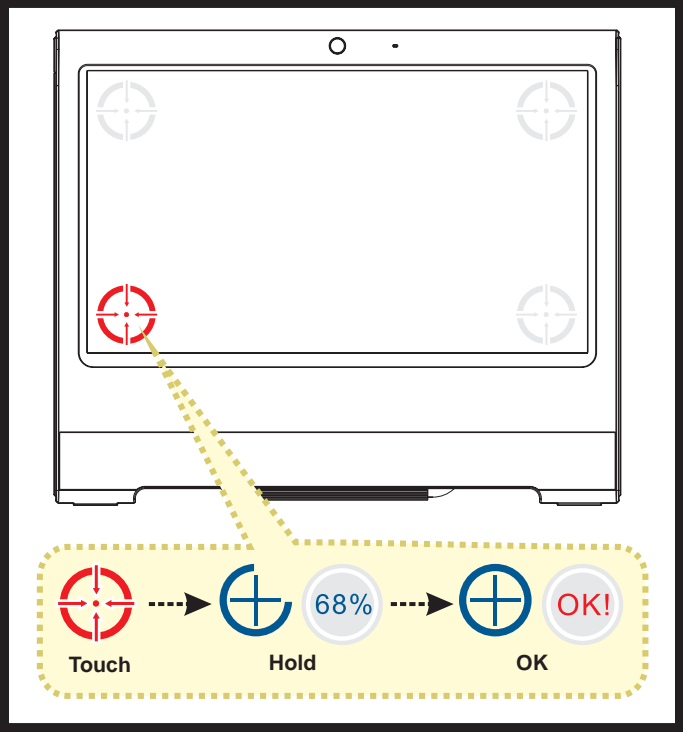
電源ケーブルを踏まないようにしてください。

注意

バッテリーの設置を誤ると、暴発の危険があります。

設置の際は、生産者の指示通り、同製品の使用を推奨します。

- ターゲットの中心をタッチし、押さえてください。四隅繰り返してください。すると、画面が自動的に調整します。



- 4 Points Calibration を完了後、画面上の OK ボタンを押す。

